組合員数109,866人
支部数　941
読者数　67,695人
（5日現在）
〔連絡先〕☎03（5978）2751　FAX03（5978）2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。

年金者しんぶん

第379号　2021年7月15日（木）
（通巻第578号）
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人　杉澤　隆宣　月刊1部100円（組合費に含む）
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

コロナ禍にひとりぼっちの高齢者に手を

全日本年金者組合　第25回定期大会開く

安心安全のまちづくりに力

最低保障年金制度　第三次提言を決定

コロナ禍で孤立する高齢者に手を差しのべよう―全日本年金者組合は6月9、10日両日、東京都の全労連会館と全国各地をオンラインでつないで第25回定期大会を開催しました。大会には代議員100人中99人が参加し、新型コロナに負けず、最低保障年金実現、安心して暮らせるまちづくりなど要求実現の運動を大きく展開することを決定しました。また、あいつぐ年金裁判不当判決に抗議し国民運動を進めること、仲間づくりと組織体制の強化に総力をあげることも確認し、杉澤隆宣新委員長をはじめとする新執行部を選出しました。

リモートによる定期大会のもよう

杉澤新執行委員長（前列）を先頭に「がんばろう」を三唱する会場参加の新執行委員

新委員長に杉澤隆宣氏

大会は議長に野口洋子さん（東京）、伍淑子さん（神奈川）を選出し、大会諸役員・係を確認して議事に入りました。

まず、金子民夫委員長が挨拶。菅政権のコロナ失政のもと、組合活動、サークル活動などが困難になる中で高齢者の命と暮らしを守るために奮闘している仲間たちに「全国が心ひとつに必ず組織の回復、前進に向かっていきましょう」とのべ、「答申から1年余の討議を踏まえた『最低保障年金制度第3次提言案』を提案しているので熱心な討議をお願いします」と挨拶しました。

来賓の小畑雅子全労連議長（会場から）と倉林明子参議院議員（日本共産党・リモート参加）から連帯と激励の挨拶を受けたのち、年金裁判弁護団の加藤健次弁護士（会場から）がミニ講演。

（いずれも2面に要旨掲載）

廣岡元穂書記長が1号議案・第26回大会までの活動方針案を提案。菅政権は高齢者・国民にとって最悪の政権であるとして、「最低保障年金制度第3次提言」を国民の間に広げ、誰もが安心できる年金制度へ取り組みを進めようと呼びかけました。また、ILOと国際人権諸機関への働きかけ、海外の年金者組合・高齢者団体との交流と連帯促進も進めるとのべました。

討論では27人が、県本部、支部、地域での活動をふまえ、経験を報告し、方針案の強化へ質問・提言を発言しました。

（7人の発言要旨を3、4面に掲載）

1日目の議事終了後に前進座の嵐芳三郎さんが緊急事態宣言下で、年金者組合が国立劇場での観劇を成功させたことへの感謝を述べました。

運動方針と提言案を採択

2日目は代議員の発言の後、機関紙、仲間ふやし、署名取り組みの表彰を行い、総代の臼井治夫さん（山梨）に表彰状が手渡されました。

加藤（運動）、吉田（第三次提言）、飯野（年金裁判）田中（組織）の4副委員長と廣岡書記長の答弁とまとめを受けて採決を行い、運動方針案と「最低保障年金制度第三次提言（案）」は賛成97人、保留1人で承認されました。

続いて、20年度会計決算報告・監査報告、21年度会計予算案、規約改正案、新執行部選出、選挙管理委員欠員補充、次期中央委員定数、顧問委嘱も全員一致、圧倒的多数で承認されました。

大会はアピール（2面に掲載）を採択し、議事を終了。退任役員の挨拶をうけ、杉沢新委員長の音頭で「団結がんばろう」で締めくくりました。

春の仲間づくり月間

会員が190人の純増

支部数は過去最高の941に

年金者組合は4月18日から「春の仲間づくり月間」に取り組み、1752人（6月28日現在）の新しい仲間を迎え、190人の純増をかちとりました。熊本県本部で新支部が結成され、全国の支部数はこれまで最高の941支部となりました。

新型コロナ感染で外出が困難な中でも奮闘された全国の仲間の皆さんに感謝します。（中央本部組織部）＊「月間」の詳細は8月号に掲載します。

風雪

▼東京・渋谷の安藤組組長を描いた「あるヤクザの生涯」という小説をご存じだろうか。石原慎太郎の書き下ろしでけっこうな売れ行きだ。

▽あれれ4年前、豊洲移転にまつわる疑惑追及の東京都議会百条委員会で彼は「脳梗塞を患って、平仮名も忘れた」と言い「記憶にない」を連発したのに…。書き下ろし小説はじめ、この3年間で10冊も本を出しているのだから、頭脳に問題がないのは明らかだ。

▼追及逃れのため病人を装った彼を追求する報道はゼロ。そういえば、女性記者の質問には、まともに答えぬなどの男女差別。「議員の息子が出馬するのなら、秘書は選挙に出るな」という身分差別、度重なる民族差別発言も大きく報道されなかった。

▽そのような人物が一儲けをたくらむ企業と組んで招致を始めたのが東京オリンピック。新型コロナが起こる前、出発から間違っていたのではないか。